

## 知事との県民対話集会（諏訪市）概要

- ・開催日時 令和5年6月2日（金） 午前10時30分から正午まで
- ・会場 諏訪市役所 5階大会議室
- ・出席者 県民16名 金子諏訪市長、阿部知事、宮原諏訪地域振興局長 他
- ・テーマ 諏訪湖の環境

### ・主な発言（要旨）

#### 【参加者】

- ・今年度実施される諏訪湖魚介類生息環境修復事業に諏訪湖漁業協同組合としても協力したい。
- ・わかさぎの漁獲量や採卵数が減少しており、県の力を借りながら対策を検討する必要があると考えている。
- ・ヒシの駆除についても県で解決に導いてほしい。

#### 【知事】

- ・漁獲高が減ってしまっていることに対しては、我々も危機感を持っており、漁協や漁業関係者の皆さんと一緒に知恵を出しながら進めていきたい。

#### 【参加者】

- ・諏訪湖は地域の方々はもとより県民の宝であると思う。諏訪湖創生ビジョン推進会議では、10月1日を諏訪湖の日と定めているところ。
- ・諏訪湖の中で諏訪市に面する部分であるAゾーンについて、湖面の利活用という観点から観光面にも力を注いでほしい。
- ・浚渫については試験的に5年間取り組んでいく予算付けをしていただいたが、セーリング協会、警察連絡協議会としても安全対策も含めながら諏訪湖を守りたいので、一緒に取り組んでいきたい。

#### 【知事】

- ・しっかり同じ方向を見て取り組んでいきたい。諏訪湖創生ビジョン推進会議をつくった理由は、治水、環境、水産業、観光業等いろいろな観点がある中で、県はもちろんであるが、皆さんで主体的に考えていただきたいという私の思いがあったため。会議の進め方などについて変えた方がよい部分などがあれば一緒に考えていきたい。
- ・私からの提案として、諏訪湖の日について学校を休みにすることはできないか。休日の分散化や観光県の休日のあり方などを検討していかなければならないので、皆さんと一緒に考えられたらと思う。

#### 【参加者】

- ・諏訪湖の湊側には諏訪湖にふれあえる渚がない。子どもたちが諏訪湖において遊べる場所をつくってほしい。

#### 【知事】

- ・治水と利水の両面を考えなければいけない。利水に関しては、せっかくある水辺空間なので、有効に使える、楽しめるようにできればよいと思う。湖に接することができる環境にしていくことは、諏訪湖の環境を持続的に守っていく意味でも重要であると考えている。

#### 【胡桃諏訪建設事務所長】

- ・湊地区は岡谷市が音頭を取り、オープンリバーとして渚をつくるなどの位置付けしようとしているところ。岡谷市からお話しいただいて位置付けができれば県でも関わることができると思う。

#### 【参加者】

- ・諏訪湖に流入する水がきれいになるように、減農薬を推進するエコファーマー制度をもっと周知してほしい。

#### 【松崎農業農村支援センター所長】

- ・エコファーマーは認定マークがついており、直売所や銀座NAGANO等でアピールしている。
- ・信州の環境にやさしい農産物認証制度もあるが、PRが足りていない面もあるので振興局としても直売所めぐり等のイベントを開催して周知に努めている。

#### 【知事】

- ・PRについては、エコファーマーを応援しようとする意識を諏訪地域からつくれるように一緒に考えたい。

**【参加者】**

・ 諏訪は災害が多く河川も改修されてきたが、中門川は改修されて両岸が壁となってしまった。土手崩れの心配はなくなったが、清掃活動もなかなか広がらない状況。市民がもっと身近に関わって管理できる体制ができればよいと思う。

**【胡桃諏訪建設事務所長】**

・ 土地の提供やスペース的な問題で矢板工法という鉄の上にコンクリートが乗っている工法で改修した。これから整備する上川については検討できると思う。

**【参加者】**

・ (両岸の壁は) 垂直に近く、ゴミ拾いや植生管理は誰が行うのか。階段など降りられる方法があればよいと思う。

**【胡桃諏訪建設事務所長】**

・ お話をいただく中で一緒に考えてまいりたい。

**【参加者】**

・ 住民の意見を聞き将来のビジョンに向けて進めていくことが大切。例えば、諏訪湖の護岸も何回つくり直したか。私は諏訪湖を壊したのは県だと思っている。

・ そうした中、ここ数年で諏訪湖創生ビジョン推進会議を開いてよくなっていくと思うが、県主体で机上で考えるのではなく、県の担当者にも諏訪湖を見て現状を知ってほしい。

・ 諏訪湖を将来に残すため、流木、ヒシ、浚渫などの問題について、どうやったら一番効率がよいか、市民と対話しながら進めていただくとともに、県の思いも私たちと共有していただきたい。

**【知事】**

・ 我々も反省すべき点は反省しなければならない。一緒になって考え、現場を見ながら、同じ思いを共有しながらやらなければならない。そのために、プロセスや仕組み、体制等を皆さんと考えなくてはいけない。民意が反映される仕組みをつくりたいと思っている。

・ 諏訪湖創生ビジョン推進会議は、つながり合い、皆さん同士で考えてもらい、県も一緒にやりますという会議にしたい。

**【参加者】**

・ 県は諏訪湖の環境対策を行っているが、事業を始めるときの説明や行っている時の経過、行った後の効果の説明が不足している。上川の植生水路事業や地下水脈調査も報告が無い。

・ 税金を使っているのに効果を出してもらいたいが、意見を言う場が少なく、言っても反応が返ってこない。諏訪湖に興味を持ち勉強もしているので、レベルの高い対話をしたい。

・ 県の事業は2、3年で担当者が変わると以前話した内容もどこかへ行ってしまっているので、一貫した論理性を持って進めてほしい。

**【知事】**

・ 対話については、今、諏訪湖環境研究センターをつくっており、科学的なアプローチの部分はこれまでよりレベルを上げたいと考えている。

・ 担当者が変わると話が変化する件は、県民の皆様から指摘される課題として一番多いもの。職員の人事管理のあり方として考えたい。

・ (県が行った調査等の) データは県民の皆様の共有財産だと思うので、共有の仕方や公開の仕方等について、どのようにしていく必要があるか考えたい。

・ データを共有しないと対話が成り立たなくなってしまうので、できるだけ情報共有しながら進めていくことを諏訪湖の対応をしていく上での県側の基本的な方針にしていきたいと思う。

**【参加者】**

- ・下水道の終末処理場ができて諏訪湖がきれいになった。諏訪湖に排出している処理水については、諏訪湖の水以上にきれいな処理水にして排出してほしい。
- ・処理水の温度が高いため、御神渡りができない原因の一つではないかと思う。また、温度が高いため、諏訪湖の水と混ざらず泡が発生する。処理水の温度を下げてほしい。
- ・魚介類やヤゴ等が非常に少なくなった。遠浅の渚が無くなったためであると思うので、遠浅の渚をつくってほしい。
- ・浚渫した泥の行き場について、一回乾燥させ、焼いて、ヘドロの部分だけ取り、また戻せばよいのではないか。

**【知事】**

- ・下水処理の話は、いただいたご意見を踏まえ担当部局と話をしたいと思う。
- ・渚の話は以前のように戻るようにしていきたいが、息の長い取組にしなければいけないので、ぜひご協力をお願いしたい。

**【胡桃諏訪建設事務所長】**

- ・浚渫土は洗って、汚い部分は外に捨て、きれいなものは戻すということで今は対応している。